

授業科目名・形態	介護の基本 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 久	開講期	1 年前期	単位数	2

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。

少子高齢化、家族機能の変化など介護問題の背景を明らかにし、介護福祉士を取り巻く状況を把握する。また、介護の意義と役割及び専門性について介護福祉士制度の制定経緯や関連法規（社会福祉士及び介護福祉士法等）を通して考えていく。

【到達目標】

- 1) 複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解する。
- 2) 介護福祉の専門性と倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を形成する。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護福祉士を取り巻く状況：介護問題の背景と介護福祉士制度
- 第2回 介護福祉士を取り巻く状況：求められる介護福祉士像
- 第3回 介護福祉士を取り巻く状況：求められる介護福祉士像の明確化
- 第4回 社会福祉士及び介護福祉士法①
- 第5回 社会福祉士及び介護福祉士法②
- 第6回 社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定
- 第7回 介護における専門職能団体の活動：専門職能団体もつ役割
- 第8回 介護における専門職能団体の活動：専門職能団体としての日本介護福祉士会①
- 第9回 介護における専門職能団体の活動：専門職能団体としての日本介護福祉士会②
- 第10回 介護福祉士の倫理：介護実践における倫理
- 第11回 介護福祉士の倫理：「介護の倫理」の実践と利用者の人権擁護
- 第12回 介護福祉士の倫理：プライバシーの保護と介護の倫理
- 第13回 介護福祉士の倫理：高齢者虐待と生命倫理（介護の倫理）
- 第14回 介護福祉士の倫理：日本介護福祉士会倫理綱領①
- 第15回 介護のはたらきと基本的視点

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

介護の基本 I、介護の基本 II（新・介護福祉士養成講座 3、4 中央法規）

【参考文献】

- ・春日キスヨ，介護問題の社会学，岩波書店

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

「介護福祉士とは」を念頭において授業を受けてください。欠席をせず、予習や復習をして小テストで着実に点数を獲得してください。